



録画配信 

荒川水循環センター

つぶやき
環境問題は数値だけでは測れない

みらいの会
ふるや
古屋 としみつ 議員

Q センター周辺で悪臭がするが対策は

A 臭気はすべての数値で規制値未満である

議員 周辺住民は荒川水循環センターからのくさい臭いに悩まされている。臭気測定の現状は。

環境経済部長 センターが実施した年4回の臭気測定では、特定悪臭物質すべてにおいて規制値未満である。

議員 臭いは数値だけでは測れない。測定は年4回だが、地域の方々には365日、日々の生活を送っている。県・市・地域と一体となって話ができる場をつくり、周辺住民に開かれた事業の推進に努めてもらいたい。

環境経済部長 センターでは情報共有や対話を積極的に推進している。

議員 地域の考えをしっかりと聞き、市を含めた三者が信頼感を持ち、事業を進めてもらいたい。測定値が基準に適合していることでよしとするのではなく、日々生活する地域の方々へ寄り添いながら事業を進めて行くことを要望する。



下水処理が行われている荒川水循環センター

その他の質問

Q 戸田公園駅南第1駐輪場は新規の定期利用枠が取りづらい。

A 利用者の意見を集め、料金格差や利用期間の設定、一時利用とのバランスなどを研究する。



録画配信 

高齢者支援

つぶやき
みんなで健康づくりに取り組みましょう

公明党
いしかわ きよあき
石川 清明 議員

Q 高齢者対象の給付金を

A 国の動向を注視し対応を検討する

議員 高齢者を対象にした給付金を検討してはどうか。

健康福祉部長 生活支援として上下水道料金の基本料金減免、市内消費の活性化による事業者と市民生活の同時支援を目的としたキャッシュレス決済ポイント還元事業など、総額約11億7千万円の取り組みを進めてきた。国の動向を注視し、新たな財源が示された場合には、給付金も含め対応を検討する。

議員 キャッシュレス決済ポイント還元事業は、高齢者の方にはなかなか利用できないとの声もある。高齢者の利用促進に向けて取り組んでいることは。

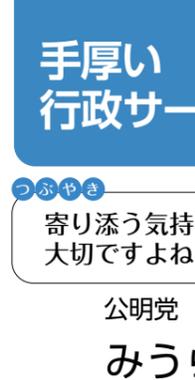
環境経済部長 キャッシュレス決済ポイント還元事業については、キャンペーン開始に当たってその都度、高齢者をはじめ、キャッシュレス決済に不慣れな方に向けたスマートフォン講座を無料で実施している。

議員 高齢者の免疫力を高めて健康づくりを推進する、高齢者向けのリーフレットを作成し、配布してはどうか。

健康福祉部長 市で行っている健康づくりにつながる高齢者向けの取り組みを、分かりやすくまとめて周知することは有効と考えられることから、前向きに検討する。



市では健康づくりにつながる高齢者向けの取り組みが行われています



録画配信 

手厚い行政サービス

つぶやき
寄り添う気持ちで大切ですよ

公明党
のぶお
みうら 伸雄 議員

Q (仮称)寄り添いコンシェルジュの設置を

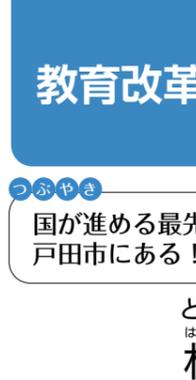
A 今後、必要性について調査・研究していく

議員 高齢者や障害者の方が市役所窓口に来てじっくり相談する際、一緒に説明を聞きながら市民目線に立って要点理解のサポートを行う、ソフト面からの支援として「(仮称)寄り添いコンシェルジュ」の設置を提案するが、市の見解を伺う。

企画財政部長 現在の市の窓口におけるソフト面の支援については、職員による丁寧な対応を基本としつつ、手続きの取扱件数が多い市民課窓口では、業務委託により記載台での申請書の記載などをサポートする人員を配置するなどしている。「(仮称)寄り添いコンシェルジュ」の設置については、その必要性及び財政負担などを総合的に鑑みると、現時点では難しいと考える。

議員 高齢者の方たちとの懇談会の中で「そういったサービスがあると安心だし、非常に助かる」との声が圧倒的に多かった。今後、そのサービスへのニーズが増えた場合における設置の可能性について伺う。

企画財政部長 今後の急速な高齢化に伴う人口構造の変化を踏まえると、ソフト面の支援策も変化することは十分考えられる。他自治体の動向なども注視しながら、今後、必要性について調査・研究していく。

録画配信 

教育改革

つぶやき
国が進める最先端の教育が戸田市にある！

とだ彩光会
はやし ふゆひこ
林 冬彦 議員

Q 東小を視察された岸田首相の着目点は

A 教育改革の先進的取り組みなどに注目

議員 戸田東小学校を視察された岸田首相は本市の教育の何に注目されたのか。

教育部長 国が進めるGIGAスクール構想や学校の働き方改革の実現に向けた取り組み状況について、本市を先進地として注目いただいたと認識している。

議員 本市の教育改革で重視する4つの取り組みとは。

教育部長 ①教科教育をはじめとした日々の授業改善の推進②1人1台端末の活用など、教育とテクノロジーの融合③客観的なデータを根拠とした教育のトライアル④児童生徒による課題発見・解決型の探究的な学びの推進である。これら4つを英語表記した頭文字を合わせ「SEE Pプロジェクト」と称するが、「SEE P」には「浸透(じわじわと染みこむ)」という意味もある。

議員 GIGAスクールの先にある教育の未来とは。

教育部長 変化の激しい時代を生きると子どもたちが「誰一人取り残されることなく、その可能性を最大限に伸ばす」教育の実現を目指す。SEE Pプロジェクトや総合的な不登校対策「戸田型オルタナティブ・プラン」をはじめとした取り組みをさらに進めていく。

議員 市を挙げての「教育のまち」が理想形。国内最先端の取り組みや知見を市民も共有できるように進めてほしい。



岸田総理が市内の学校を訪れ、デジタル活用の授業を視察されました(視察の様子については、広報戸田市(QRコード先)に掲載されています)